



皆さまこんばんは。ガバナーの野中です。

本日は、年度恒例の公式訪問にあたりまして、鹿児島南RC武井 美智子会長はじめ会員皆様には、親しく歓迎頂き誠に有難うございます。

また、地区活動にもご理解を頂き、ガバナー補佐に日高文治会員、米山奨学寄付副委員長に中島 秋津子会員、インターアクト委員に玉利 佳久会員、国際奉仕委員に萩原 隆志会員を輩出頂きお世話になっております。

さて、本日は例会に先立ち会長・幹事・会長エレクトとの事前懇談。その後、新会員皆様・女性会員並びに配偶者(ご夫人)と懇談会の機会を設けて頂きました。大変有意義でありました。

新会員・女性会員皆さんからは、口々に「色々な人との出会いの機会を得た」「クラブは居心地が良い」「入会して良かった」とのご意見を頂きました。

そして会長からは、クラブ概況と今年度の活動方針を懇切にご報告もいただきました。それによりますと、今年創立57年。会員38名(女性4名)の皆さんが、クラブの伝統を尊重しながらも、和気藹々の雰囲気の中でロータリーの目的に向かって邁進されています。

中でも、当クラブは会員増強については熱心であり、今年度すでに4名の会員増強をされています。また、国内外RCとの交流や、奉仕プロジェクト活動、インターアクトやプロバスの活動支援など充実した活動をされています。

また、武井会長におかれては、クラブテーマを「全員参加で、楽しく有意義なロータリーライフを！」として、リーダーシップを大いに発揮されています。

クラブの課題としては、①会員増強②例会の出席率を挙げられておりました。

ここで、RI(国際ロータリー)の重点事項に照らしながら考えてみたいと思います。

今年の国際ロータリーの最重要事項は「会員増強」「ポリオ撲滅」そして「公共イメージアップ」の三つです。これは昨年度と同様です。

さらに、地区においては出席率アップも課題に挙げられています。

そういう訳で、今回の公式訪問では、例会に引き続きフォーラム「奉仕は力!活かそう例会」を基本テーマとして、会員増強や出席率向上を含めた意見交換の機会を設けて頂きました。

いずれにしても、この課題の克服は、会員皆さんが、ロータリーの目的や理念をあらためて確認することから、進展するものです。そして、同じように、RI年度テーマや地区モットー或いはクラブ会長方針を折々、確認し合うことも大切だと思います。

例えば、地区内のあるクラブでは、例会での4つのテスト唱和の前に、RIテーマ、地区モットーそして、クラブテーマの唱和それから4つのテストという風に、毎回の例会でそれらを確認しています。

さて、今回私の公式訪問においては、配偶者(ご夫人・ご主人)皆さんのご出席を予めお願い致しました。そうしましたら、本日は有り難くも6名のご夫人、さらに職場関係の方5名にもご参加頂きました。うれしい限りです。

私はこれから、ロータリーを発展させるためには、ご夫人ご主人そして職場の皆さん、それら身近な皆さんの理解と協力は欠かせないと思います。中でも、最も身近な配偶者の皆さんの応援は貴重です。

このことは、近隣の韓国や台湾のクラブがよい例です。両国共に、会員が年々増強されています。その要因を尋ねますと、女性会員の増加と配偶者の積極的な参加協力があるようです。

何しろ、夫人は今日ではRIの職業分類上「家事」業とされ、会員増強の対象ともされています。ご夫人の会員増強はともかくとしても、日本のロータリーもかつてのようにご夫人方から、あらためてクラブ支援・応援を頂きたいものであります。

ちなみに、私の所属する延岡東RCでは、30年前からクラブ夫人会「カトレア会」を結成して、大変活発であります。そして、よく協力をしてきておられます。それについては、お手元に資料を準備して参りました。後程ご参照下さい。

延岡東RCは私のクラブでもありますが、カトレア会のお蔭なのでしょうか、出席率や米山・財団の協力ぶりは、長年地区内でもいいところを維持しております。

いずれに致しましても、女性会員の増強も大切ですが、家庭や職場の皆さん、特に奥さんやご主人の応援は、クラブの活性化に欠かせません。まさに「家族と共にロータリー」であります。

次に、ロータリーの広報・公共イメージアップ。これは、会員増強とも関わりますが、今年度そして「ロータリー・アピールポスター」を作製しました。お手元のAサイズのチラシはその縮小版です。

ポスターはすでに、家庭に1枚・職場に1枚、貼っていただいておりますが、何より、ポスターやチラシを通じて身近な人にロータリーを伝えてもらいたいと思います。

チラシをちょっとご覧になって下さい。RI テーマ「世界へのプレゼントになろう」を頭にかかげ、中心にはテーマロゴマークとテーマの原語「Be a gift to the world」を置いています。また、上段の写真に「ポリオ撲滅」「水と衛生」「東日本大震災被災地児童・生徒支援の福島キッズ」。そして、中段には「ポリオ予防接種活動」や延岡市内3RC 合同開催の「ポリオ撲滅ロータリーデー・街頭募金」の模様を掲載しています。さらには、下段にはロータリーの命ともいえる、4つのテスト、ロータリーの目的、ロータリーの行動規範も並べております。

つまりは、このポスターやチラシを通じて、ご家族や職場の皆さん或いはご友人・知人にロータリーを伝えて頂きたいということでもあります。

例えば、ロータリーとライオンズの違いは何ですかと尋ねられた場合も、このチラシを見せれば、少なくともロータリーの趣旨・目的・活動ぶりは伝えられるはずです。

さらに、このチラシを活かすには、裏面を用いて自クラブ紹介に充てると、随分と説得力を増すはずです。

そして、自クラブ紹介面の中には、できれば会費の用途を例えば円グラフを用いて示しておきますと、より理解が得られます。この方法は、加治木 RC が紹介しおりに用いています。

これは、大事なことです。なぜなら、会員自身が会費の打ち明けを知らなければ、会費が高いと受け止められてしまいます。会費の値下げを考えるよりも、実は会費用途をお互いが理解することの方が私は大事だと思います。

さて、最も大事なことをお話しせねばなりません。

本年度国際ロータリーK.R ラビンドラン会長の年度テーマについてです。

「世界へのプレゼントになろう」はもうすでに、皆さんには趣旨をご理解頂いていることと思いますが、このプレゼントこそロータリーの奉仕を意味するものです。

ラビンドラン会長は、プレゼント（ギフト）とは「授かりものに対するお返し」と述べております。

さらに、会長はロータリーの価値を次のように述べています。「ロータリーは、私たちの資質を引出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます。」と。まさに、例会出席や会員増強の意義を説くものです。つくづく、ラビンドラン会長のメッセージは味わい深いものです。

ロータリーは、実は私達人間一人一人に与えられた、資質・才能・善意・そして可能性をお互いに、引き出し合うクラブなのでもあります。

このように、ロータリーの魅力・特徴を私たちは今後、広く伝えてゆかねばなりません。何のための、ロータリーなのか。その答えは、言うまでもなくロータリーの目的に書かれてある通りです。それほど、ロータリーの目的は再三確かめたいものであります。

このことは、会員増強もしかり。ポリオ撲滅運動或いはクラブ独自の社会奉仕活動の意義もすべて、目的に帰結します。そして、この目的の実践こそ、「4つのテスト」であり「ロータリーの行動規範」と展開していくわけです。この続きは、後程フォーラムでお話します。

終わりに、今年の10月16日(金)～18日(日)の地区大会、あらためて多数のご参加をお待ちします。

当日は、特別講演にジャーナリスの櫻井よしこさん。そして、田中作次 RI 元会長によるセミナーも計画しております。

さらに、来年5月27日(金)～29日(日)は韓国ソウルでの国際大会です。日本からは1万人。当地区からは、200人を目標に募集しております。

世界のロータリーに一諸に触れてみて、新たな感動を共有しましょう。

尚、国際大会の取りまとめは分区単位でお願いします。クラブ会長から、ガバナー補佐に参加予定者をお伝え頂くことになっております。まだ、空席はあるようですので、受け付けております。詳しいことは、ガバナー事務局にお問い合わせ下さい。

いずれに致しましても、鹿児島南 RC 様の今後益々のご発展と当年度の大成功を心からご祈念致します。ご清聴ありがとうございました。